

学修成果が“見える”！ Bitはあなたを力強く応援！

Bitは学修成果の“可視化”に取り組んでいます。

あなた自身の成長を確認することができるため、やる気アップに繋がります。

【教育目標】
「つくり、つくりかえ、つくる」

- ① 国家資格・検定合格に挑戦する自分づくり
- ② 社会性・創造性・国際性豊かな自分づくり

1 各専攻における育てたい人材像の設定

2 そのために卒業時にどんな力を身につけさせたいか(ディプロマポリシー)を決め、それぞれに対する評価基準(ルーブリック)を設定します

ディプロマポリシー	ルーブリック(評価基準)				
	5	4	3	2	1
a-1					
a-2					
a-3					
a-4					

教育目標の2つの観点を含んだ評価基準表になります

3 上のような力を身につけるためのカリキュラム策定方針(カリキュラムポリシー)を設定します

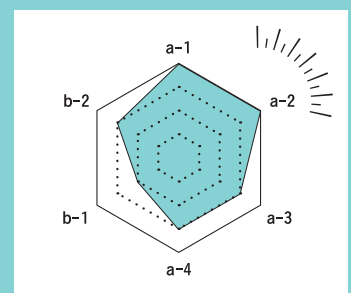
カリキュラム編成表(授業科目等の概要)
2020年度 商業実務専門課程 医療事務学科 医療事務専攻

当該ディプロマ番号	科目区分	年次	学期	必修	必修選択	自由選択	授業科目名
k-7	270 基礎科	2	前期			○	秘書実務IIA
c-1		1	前期			○	キャリア支援IA

5 各科目のシラバスを策定します。シラバスにより、各専攻の学びの内容や方法が明確化します

◆ 目標の明確化
◆ 評価基準に沿った授業実施

学修レベルの自己評価
個人点数やクラス平均点数をレーダーチャートで可視化



目的 1

教育改善に取り組み、教育の質を保証します

目的 2

学生自身が自分の成長を確認(可視化)することにより、学習意欲や学校生活満足度の向上を図ります

目的 1
教育改善・教育の質保証

教職員

- 1 学生自己評価レーダーチャートより、到達度が低いディプロマポリシー項目の把握
- 2 授業内容の理解度分析
- 3 授業改善・教育改善
- 4 教育の質保証

Google classroomの活用とその効果

	AD	生徒	AD	生徒
	5月1日	5月3日	5月7日	
5月	●●さんは具体的にどのような行動が足りなかったと思いますか?	自分としては●●が足りなかったと思いました。	そうですね。●●はしっかりと勉強しましょう。	

- ◆ 学生全員にGoogleアカウントの付与
- ◆ スマホと連動させれば、スマホから課題などの学習も可能
- ◆ 時間、場所を選ばずに学習が可能(カフェ、待ち合わせの時間、自宅など…)
- ◆ 自宅や外出先から課題提出も可能となり、時間の有効活用となる
- ◆ 学生と教員との間の個別のコミュニケーション活性化につながる
- ◆ 学生同士で同時作業が可能になるため、自宅でグループ課題の作業も可能

※個人と学校用の情報が混在することはありません

Google classroomによる
双方向のWeb評価
リアルタイムでの現状把握・学修支援

目的 2
学生自身への可視化

学生

自己評価レーダーチャートで自分の成長を確認することにより、

学習意欲の向上

↓

国家資格・検定合格率向上

学校生活満足度向上

↓

休退学防止